

## 第二回「暮らしの課題の「見える化」フィールドワーク」を 実施しました。(秋田県男鹿市、大潟村)

2023年11月16日~17日 実施

キーワード：暮らしの課題、大潟村干拓事業、秋田県まちづくり、コミュニティ

調査地域：秋田県男鹿市、大潟村

防災復興支援センター「暮らしの課題の「見える化」」第2回調査で、秋田県男鹿市と大潟村にてフィールドワークを行いました。盛岡短期大学部国際文化学科の5名の学生と干拓博物館、秋田市内、秋田港等を訪問しました。調査項目は以下のとおりです。この調査は引き続き継続し、報告書並びにデータとして残していくことになります。地域の皆様、役所の方々にはご多忙のところメールでの対応を含め丁寧に対応していただきましたことに対して、改めて深く御礼申し上げます。

1. 秋田県男鹿市
2. 大潟村干拓博物館
3. 寒風山
4. オガーレ、セリオン

今回は秋田県男鹿市、大潟村を中心に調査を行った。「暮らしの課題」を岩手県と秋田県の間で比較する最初のプロセスの一つである。厳冬期を迎える前の日程の都合上、強行スケジュールとなったが、効率的に各所を周り、ガイドによるインタビューなども行うことができた。また、男鹿市内の街並みを目視調査し、男鹿市の抱える諸問題、資源を生かしたまちづくりなどへの提言に活かす可能性のある調査結果が得られた。大潟村では干拓博物館を訪ね、干拓事業の歴史と米増産のプロセス、現在の米流通、今後の展望、希少動植物保全など多様な課題に対する視点に一定の方向性を見出す可能性のある調査となった。また、秋田県は風力発電所計画が非常に多く、すでに導入されている箇所と周辺の状態も確認することができた。脱炭素社会実現とエネルギー問題に関しても、今後の動向を精査したい。

### ■実施概要：

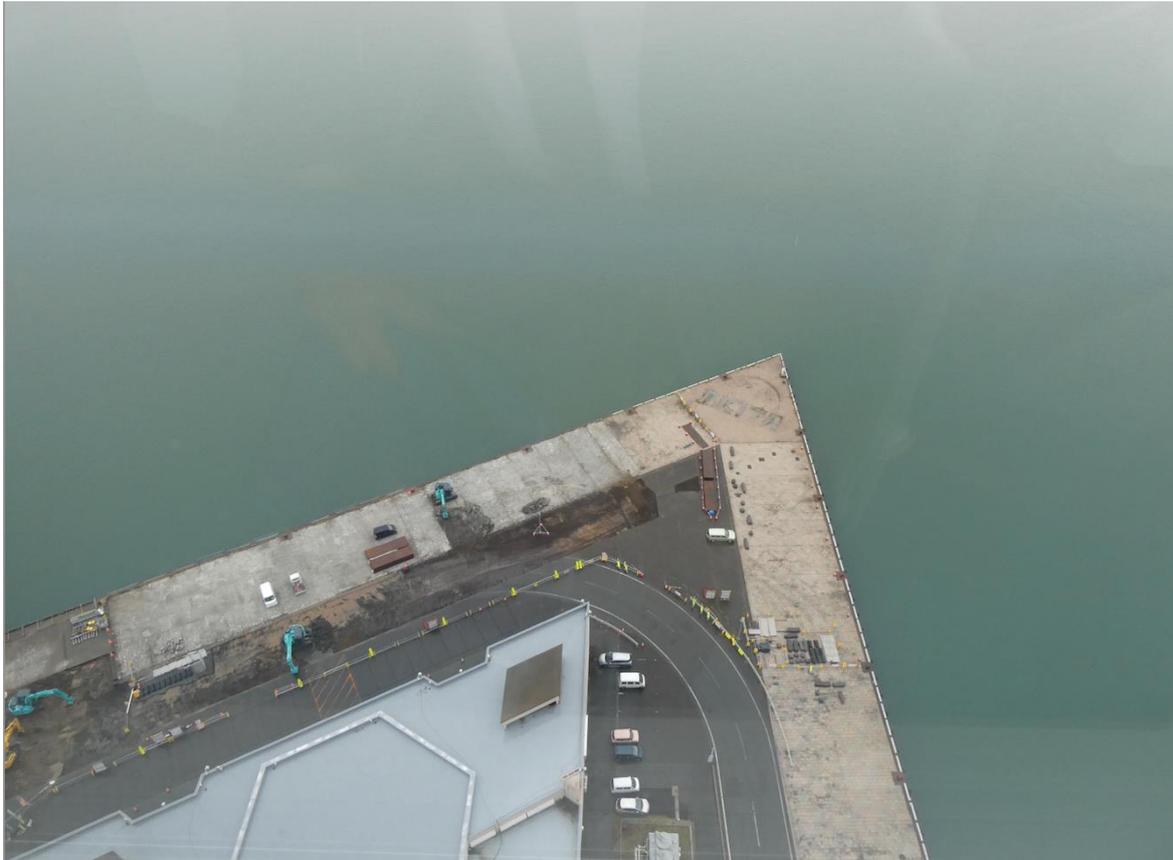
- (1) 調査日時 2023年11月16日 ~11月17日
- (2) 地域： 秋田県男鹿市、大潟村
- (3) 対象：市役所職員、博物館、展望台、商業施設等
- (4) 協力： 秋田県男鹿市役所、大潟村干拓博物館、セリオン（ガイド）
- (5) 調査参加者数：学生5名



大潟村千拓博物館パンフレット 2023.11.17      秋田港セリオンからの廃線風景 2023.11.27



秋田港の風力発電施設 2023.11.17



秋田港改修工事の様子 2023.11.17



干拓博物館で野鳥のスタンプ集め 2023.11.17